

2025年度

履 修 ガ イ ド

湊川短期大学

はじめに

高等学校までの学習は、必要と思われる知識や技術を教員が選択し、生徒に伝えることが中心で、生徒には、教えられたことの修得が望まれます。

大学での学修は、自分の目標にとって必要であると考えられる内容を自ら選択し、必要な授業の履修登録を行い、授業の内容、教員の指導から、主体的な学修によって、知識や技術、考え方を磨いていくものです。すなわち、「教えられる」から「自ら学ぶ」態度への変化と言っていいでしょう。また、学生生活の全ては自己管理が期待されます。

この『履修ガイド』は、「自ら学ぶ」「自己管理」の助けとなるよう編集しました。

学修全般に関する様々な情報を解説しています。間違いなく卒業するために、どれもが重要な項目です。入学オリエンテーションでは各々を確認していきますが、履修登録や成績発表の時など、必要に応じて参考にしてください。

『シラバス（授業計画）』では、各授業科目のねらい、1回1回の授業の内容、使用するテキストや参考書等、成績評価の観点や方法などが書かれています。よく読んで、短期大学生として基礎的に修得すべき教養や、専門の持つ特色をよくつかんでください。そして、関連する授業科目のつながりをとらえるようにしてください。また、授業に参加するだけでは不十分ですので、予習や復習、課題への取り組みといった主体的な学修が必要となります。『シラバス（授業計画）』を「自ら学ぶ」学修の手がかりとしていただきたいと思います。

編集担当者

目 次

1. 履修について	4
2. 大学の授業について	5
3. 特殊教室の使い方	8
4. 学修成果	9
5. 成績評価について	10
6. GPA による評価と指導について	12
7. 他学科の授業科目履修について（解放科目）	14

人間生活学科

教育課程・開講予定	16
コースと各種資格について	18
履修登録・成績発表・実習などのスケジュール	20
人間生活学科での履修において特に注意する点	22

幼児教育保育学科

教育課程・開講予定	26
履修登録・成績発表・実習などのスケジュール	28
幼児教育保育学科での履修において特に注意する点	30

ここでは、湊川短期大学で学修するために、大切な情報をあげています。
よく読み、参考にできるようにいつも手元に置いて、間違いなく短大生活を送ってください。

大学からの連絡（掲示板）

- ・大学からの連絡事項は、すべて掲示によって行います。
 - ・一度掲示したものについては、学生全員に連絡したものとみなします。掲示を見なかったためにおこる不利益は、本人の責任になります。
 - ・連絡事項に関する疑問点やよくわからない点は、短大事務室窓口に直接問い合わせてください。
 - ・電話による問い合わせは原則として、受け付けていません。
- ※大学ホームページにて連絡する場合もあります。緊急時や長期休業中は、トップページ、または、在学生ページを確認してください。

**大学に来たら必ず
掲示板をすべて確認するように
習慣づけてください**

掲示板の場所 本館 1 階エントランス
在学生ページ 大学ホームページ トップメニュー [「在学生の方へ」](#)

毎日、朝・夕 2 回掲示板の確認！

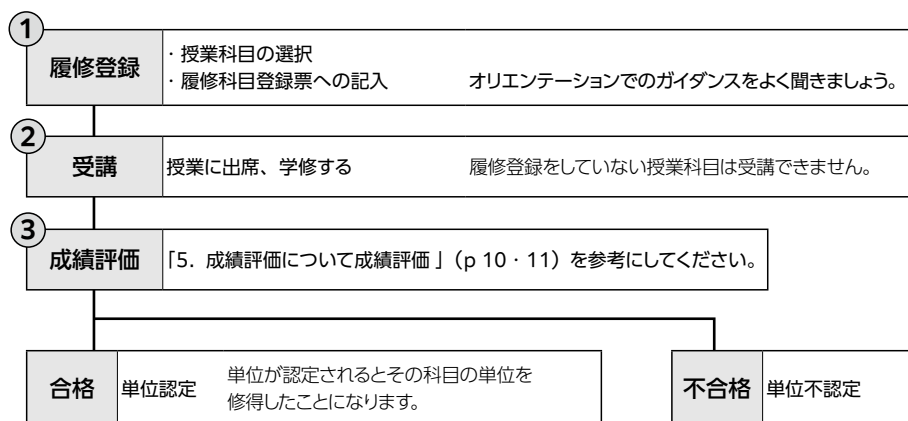
1. 履修について

—— 大学における学修は、「単位制」が採用されています。 ——

1 単位制とは

大学で開講されている授業科目は、科目によってそれぞれ単位数が定められています。これらの授業科目を「履修」して合格することによって、その科目の単位が「認定」されます。このようにして、卒業や免許・資格に必要な単位を修得する制度のことです。

「履修登録」から「単位」の「認定」まで



2 教育課程（カリキュラム）とは

その学科の教育方針に基づいて、系統的な学修ができるように組み立てたものが「教育課程」で、この履修ガイドに掲載してあります。

3 授業科目の選択

皆さんは、所属する学科のカリキュラムの中から、卒業や取得したい免許・資格に必要な授業科目、また、自分の興味にあった授業科目を選択してください。授業の内容等が詳しく書かれている『シラバス（授業計画）』は、大学のホームページ（湊川について→シラバス・履修ガイド・学生便覧→シラバス検索）から閲覧できます。

授業科目の選択に当たっては、各学科で行われるオリエンテーションに参加し、履修ガイドと『シラバス（授業計画）』を十分に活用して、注意深く行うようにしてください。

ただし、受講人数が5名に満たない場合は授業を開講しないことがあります。

4 講義コードの見方

各授業科目に割り当てられた番号のことで、どの学科の授業科目なのかが分かるようになっています。『シラバス（授業計画）』の閲覧・検索の際に参考にしてください。講義コードの成り立ちは次のとおりです。

講義コード例：2025101

2025 **1** **01**

入学年度

学科

科目番号

1 ▶ 人間生活学科

3 ▶ 幼児教育保育学科

5 履修科目登録票への記入

履修科目登録票はマークシートになっています。選択した授業科目のところに間違いなくマークをしてください。履修登録をされていない科目は、たとえ授業を受けても単位は認定されませんので、注意してください。履修登録が正しくできたかどうかを確認する機会が一度あります。

2. 大学の授業について

大学の授業は、高等学校までとは異なるところが多いので、よく確認してください。

1 前期と後期

1年の学修期間を「前期」（4月1日～9月下旬）と「後期」（9月下旬～3月31日）の2学期に分けて授業を行っています。

2 授業時間

授業は、講義・演習科目においては、90分もしくは180分（2コマ連続）で行われます。

実験・実習科目においては、90分もしくは135分で行われます。

3 教室の表示

教室の表示は、次のようになっています。

*各館についての詳細は、キャンパスの略図（p6・7）を参考にしてください。

本館	1号館、2号館、3号館、5号館
2桁目が0 【401】 → 4階 1号教室	2桁目が0以外 【121】 → 1号館 2階 1号教室

4 休講について

「休講」とは、大学や授業担当者にやむを得ない事情が生じたために授業を行わないことをいいます。

「休講」になった授業は、他の日時に「補講」を行います。

・休講は、事前に本館1階エントランスの掲示板に掲示されます。授業担当者の体調不良等により当日掲示される場合もあるので、毎日確認するようにしてください。

ー非常事態発生時の臨時休校措置についてー

①三田市に気象警報のうち大雨、洪水、暴風、大雪、暴風雪のいずれかの警報が発表された場合

②JR宝塚線・福知山線（宝塚～篠山口駅間の全部または一部の区間）に運休の措置が取られており運転再開の目処が立っていない場合（一部列車の運休や、一時的な運転見合わせは含まない）

時間	事情	措置
午前7時	①気象警報が発表されている場合 ②JRの運休が確認された場合	「午前」休校措置
午前10時	①気象警報が発表されている場合 ②JRの運休が確認された場合	「午後」休校措置

（注意）・すでに多くの学生が登校している場合は、学長の指示に従うこと。

・その他の非常事態が発生した場合は、学長の指示に従うこと。

5 「補講」、授業日時・教室などの「変更」について

・「補講」、授業日時・教室などの「変更」は、事前に本館1階エントランスの掲示板に掲示されます。急な変更が生じる場合もありますので、毎日確認するようにしてください。

6 欠席について

原則として授業の欠席は認められません。

授業の出席が3分の2に達しない場合、単位修得が認められず、不認定となります。(学則第16条より)

ただし、次の理由による欠席は公欠と認め、欠席としても出席としてもカウントされません。

公欠の取扱いを受けようとする者は、公欠願を理由の証明できる書類を添付して、事後1週間以内に短大事務室に提出してください。

・3親等以内の死亡(忌引き)

(公欠日数) 1親等(父、母) - 5日、2親等(祖父母、兄弟姉妹) - 3日、

3親等(曾祖父母、伯叔父母) - 2日※休日を含めた連続する日数

・出席停止の感染症(インフルエンザ等)

(公欠日数) 学校保健安全法施行規則に定める期間

＊上記の理由以外(期間外実習・就職試験等)の欠席は公欠として認められません。

なお、公共交通機関の遅延等で、授業に間に合わず、やむを得ず授業を欠席する場合は、必ずその旨を担当教員に連絡してください。その上で、当日もしくは後日、担当教員に遅延証明を見せ、配慮を願い出るようにしてください。

7 オフィスアワー(教員への相談の時間)

各専任教員は、学生の授業などについての質問や相談には、授業や会議等以外の時間の許す限り、いつでも対応していますが、「オフィスアワー」という特定の時間帯を設けており、学生は基本的に予約なしで研究室を訪問することができますので、気軽に訪ねてください。

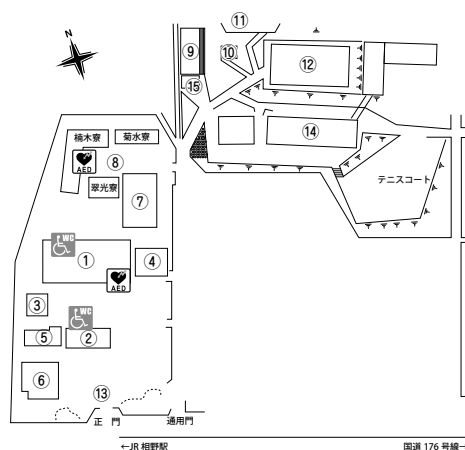
各教員の「オフィスアワー」の時間帯は、本館1階エントランスの掲示板で確認してください。

○非常勤講師は、授業を実施する時間帯のみ大学に来ていますので、基本的に授業終了後に教室で授業についての質問や相談をしてください。

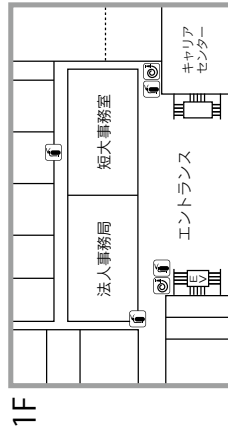
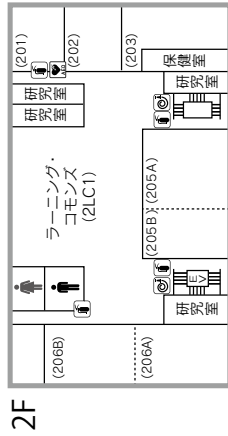
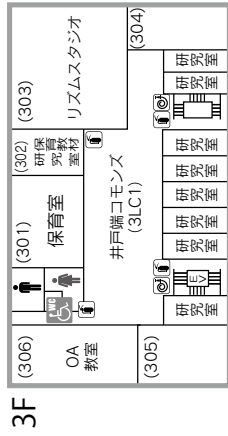
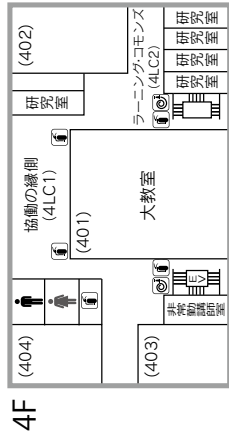
キャンパスマップ



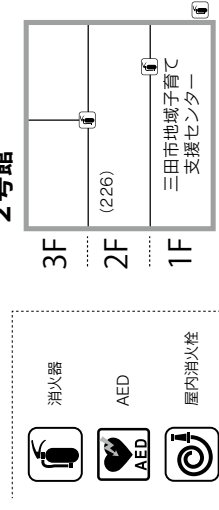
湊川短期大学学舎等 配置図



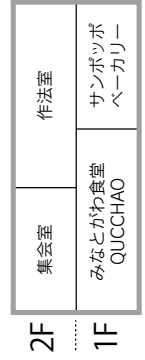
本館



2号館

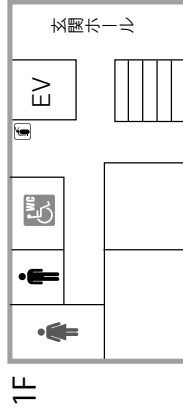
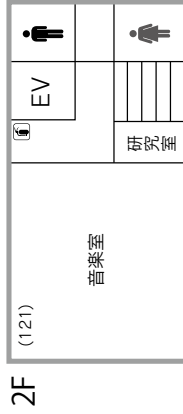
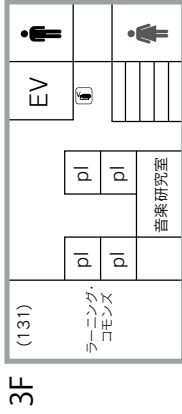
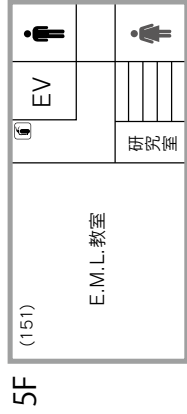


學生會

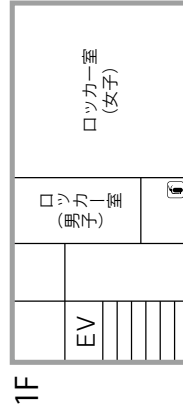
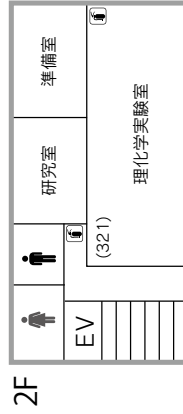
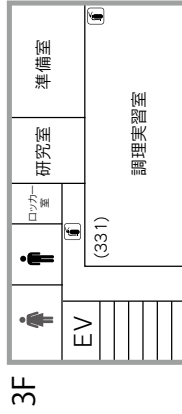
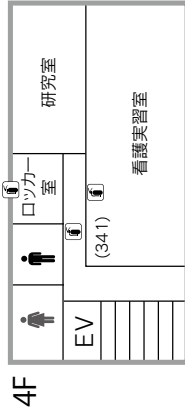
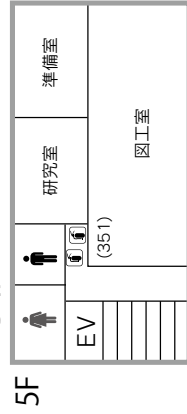


1号館

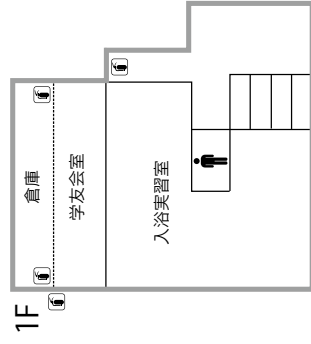
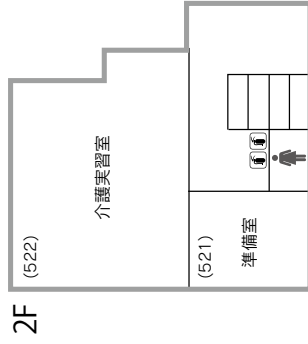
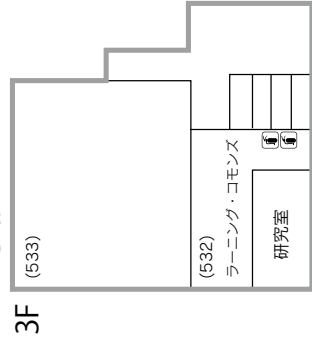
pl...ピアノレッスン室



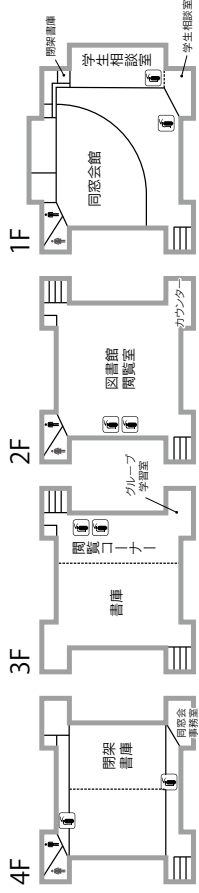
信亨三



5号館



館全記



3. 特殊教室の使い方

大学の施設・設備や、設置されている機器（パソコン・プリンター等の）不調等のトラブルが発生した場合は、放置せず、必ず短大事務室まで連絡してください。

1 ラーニング・コモンズ

① 本館2階（2LC1）

- ・ アクティブ・ラーニングを中心とした、学生の主体的な学びの場です。
- ・ 個人またはグループによる学修に使用してください。
- * 予約不要で自由に利用できますが、予約が入っている場合は予約を優先します。
- * 予約は、「施設設備使用願」に必要事項を記入して短大事務室に提出してください。

② 本館4階（4LC2）

- ・ 本学学生が自由に使用できるスペースです。
- ・ パソコンを設置しています。使用は自由ですが、掲示されている使用条件を守って利用してください。
- ・ 利用は、午後8時までです。
- ・ スペースの美化に努めてください。
- ・ 以上のことを守れない場合は、利用を一時制限することもあります。

2 OA教室（本館3階 306 教室）

OA教室のパソコンは、授業や卒業研究指導などで使用していない時間帯において、利用することが可能です。

- ・ 原則として授業の予習／復習、授業の課題作成、卒業研究などを目的とした利用に限ります。
- ・ 利用時間は、午後8時までです。
- ・ 退室の際は、パソコンの電源、エアコン、照明などを必ず消してください。
- ・ 教室内での飲食は厳禁です。

4. 学修成果

大学では、授業その他の活動で学修することになりますが、学修で得られる力や内容について示すものが【学修成果】です。湊川短期大学では、学科ごとに学修成果を設定しています。

学修成果	
人間生活学科	幼児教育保育学科
以下の知識・技術・能力・態度を学修成果とする。 ①社会性と人権意識をもち、人と協調して課題解決に当たることができる ②医療、教育の職に求められる基礎的な知識や技能を修得し、それを現場で活かすことができる ③さまざまな年齢の人に対して、相手を尊重して接しようとする態度を有する ④支援を必要とする人に必要な援助方法を見つけ、行動しようとする態度をもつ ⑤よりよい援助を行うために、自らを高め努力しようとする姿勢をもつ ⑥地域を支える社会人としての使命感と責任感を有する ⑦自分のこれからの人生に対する計画的で前向きな態度を有する	以下の知識・技術・能力・態度を学修成果とする。 ①地域の幼児教育・保育に携わる使命感と責任感を有する ②仲間と協同しながら、修得した知識・技術を活かした社会貢献ができる ③子どもの成長・発達に向き合うことができる ④よりよい幼児教育・保育のために努力することができる ⑤自らの人生について目標を持ち、目標の実現に向けて努力することができる

5. 成績評価について

1 成績の評価

成績評価は、学修成果の獲得に向けた学修全体の過程を評価します。そこで、授業内での小テストや授業への取り組み姿勢、レポートなど、授業科目の特性に応じて総合的に評価します。したがって、各授業科目によって方法が違いますので、『シラバス（授業計画）』にある「単位認定の方法及び基準」で確認しましょう。

※注意

- ・ 成績の評価を受けることのできる科目は履修登録を行った科目に限ります。
- ・ 学費未納者は評価を受けることができません。

2 レポート・作品等について

レポート・作品等によって成績を評価する場合があります。授業時間に授業担当者から指示がある場合と、掲示によって指示のある場合があります。提出の様式、提出の場所・日時をよく確認して、間違いのないように提出してください。

3 試験について

試験

「試験」とは、成績評価を目的として、教科目履修規程に示す要領（第2章第10・11条）に基づいて行うものを指します。したがって「試験」は授業としての学修活動には含まれませんので、授業時間外の「補講・試験日期間」に行います。授業の一環として行う小テストなどとは区別されるものです。詳しくは、担当教員から指示されますので注意してください。

追試験

「追試験」とは、以下のやむを得ない理由により、課題を提出できなかったなど授業時間内に成績評価の条件が整わなかった場合や、「試験」を欠席した場合に行われる特別な「試験」です。筆記試験の他、レポートなどの適切な方法によって行われます。

- (1) 3親等以内の死亡、(2) 病気、(3) 教員採用試験、就職試験、(4) 交通事情、(5) 災害又は不慮の事故、
(6) その他やむを得ない理由

以上に該当し、受験を希望する場合は、理由を証明できる書類を添えた「追試験願」を指定の日時に短大事務室に提出してください。

このとき受験料として、1,000 円が必要になります。ただし、出席停止の感染症による公欠は、受験料が免除されます。

成績発表と同時に発表される「追・再試験時間割」の指示に従って、受験してください。

追試験は1回限りです。追試験に対する再試験はありません。したがって、追試験に不合格になった場合は、その科目の単位は不認定となります。

再試験

「再試験」とは、成績評価が不可になった場合（個人成績票に「不可」と表示されます。）に行われる特別な「試験」です。筆記試験の他、レポートなどの適切な方法によって行われます。受験を希望する場合は、指定の日時に短大事務室へ「再試験願」を提出してください。

このとき受験料として、1,000 円が必要になります。

成績発表と同時に発表される「追・再試験時間割」の指示に従って、受験してください。

再試験は1回限りです。再試験に不合格になった場合は、その科目の単位は不認定となります。

4 試験・追試験・再試験についての心得

- ・試験時間は 60 分です。
- ・試験場には、30 分以上遅刻した場合は入室できません。
- ・試験場からは、45 分経過しないと退室できません。
- ・試験場では、必ず机の上に学生証を提示しなければなりません。学生証を忘れた場合は、ただちに短大事務室で「受験資格確認票」の発行を受けてください。(後日、学生証を短大事務室に提示してください)。それ以外のものは、かばんに入れて机の下に置いてください。ただし、試験科目によっては授業担当者から許可されたものを持ち込んで参照してよい場合があります。授業担当者から事前に指示がありますので注意してください。
- ・試験場では、携帯電話等の通信機器は一切使用禁止です。電源を切ってかばんに入れ、机の下に置いてください。
- ・試験場で不正行為をした学生については、当該学期中における当該科目についての単位は一切認められません。
- ・試験監督の指示に従ってください。

5 成績について

- ・授業科目の成績が 60 点以上をもって合格とし、その科目の単位修得を認める。
- ・成績の発表は、「秀」・「優」・「良」・「可」・「不可」で行います。基準は下の表の通りです。

評価	判定	単位
90 点以上	秀	合格
80 点以上	優	
70 点以上	良	
60 点以上	可	
59 点以上	不可	再試験対象
欠席過多等により単位修得が認められなかった	不認定	

- ・成績評価で不可になった科目は、再試験を受けることができます。
- ・再試験で合格になった場合は、全て「可」となります。
- ・追試験、再試験で不合格となった場合は、「不認定」となり、その科目の単位は修得できません。
- ・「不認定」となった科目は、再履修をするか、卒業後「科目等履修生」として履修することによって、再度受講することができます。
- ・発表された成績評価への疑問があるときは、成績発表後1週間以内に短大事務室に申し出てください。

授業の欠席は、原則として認められません。
(P. 6も参照のこと)

6. GPA による評価と指導について

1 GPA による評価

「成績評価について」でも触れたように、各科目の成績は「秀」・「優」・「良」・「可」・「不可」で判定されます。これらの成績を総合的に評価する目的で、本学では 2003 年度入学生より GPA = グレードポイントアベレージ (成績評価係数) による学業評価システムを併用しています。

具体的には、それぞれの教科の評価に一定のポイントを設定し、不合格科目を含めて、履修科目の平均を算出します。GPA は次のように計算されます。

評価	ポイント	判定
90 点以上	4	秀 (合格)
80 点以上	3	優 (合格)
70 点以上	2	良 (合格)
60 点以上	1	可 (合格)
59 点以上	0	不可 (不合格)
再試験合格	0	再) 可 (合格)
欠席過多等により単位 修得が認められなかった	0	不認定 (単位不認定)

GPA 算出方法

$$\frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たポイント})] \text{ の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{ の総和}} = \text{GPA 値}$$

2 GPA による表彰基準

・成績優秀奨学金 A :

この奨学金は、学期毎の学修状況及び成績を判断し、各学科の上位者に対し、翌期 (半期) の授業料の 10% 相当を授与するものです。このときの成績については GPA 値で判断します。

・成績優秀奨学金 B (校祖幸田たま賞) :

この奨学金は、卒業時に学修状況及び成績を判断し、納入済み授業料 (2 年間) の 10% 相当を授与するものです。2 年間の累積 GPA 値が 3.50 以上の者の中から選考します。

3 学内第一種奨学金 (学納金一部免除) の停止基準

学内第一種奨学金は、原則 2 年間対象ですが、学期 (前期、後期) ごとの GPA 値が 2 学期連続して 2.70 未満となった場合は、次の学期から学納金の一部免除が停止となります。学期 (前期、後期) ごとの GPA 値が 1 学期において 2.70 未満となった場合は、当該学生、保護者あてに文書で注意の通知をします。2 学期連続して該当しないよう努力をしてください。

4 GPA による学修指導

学生の円滑な卒業及び免許・資格の単位修得のため、GPA 値の基準により以下の指導を行います。

当学期の GPA 値が 1.00 未満の学生は学修の特別指導を行い、2 学期連続して GPA 値が 0.50 未満の学生は退学勧告の指導を行う場合があります。

5 他の大学・短期大学等で履修した科目を本学履修単位として認定した場合の GPA の扱い

他の大学・短期大学等で履修した科目を、本学履修単位として認定した場合、当時の成績評価は本学の GPA には反映させません。(本学に再入学した場合も、以前に履修した科目については同様に扱います。)

* その他、学修成果の推移を見る基準として使用します。

6 GPA 等による学外実習指導

(1) GPA が①の基準に該当する学生及び GPA の基準とは別に②、③、④、⑤に該当する学生は、学外実習の「養護実習」、「臨床実習」を履修することができません。

①1年生前期終了時の GPA 値が 2.00 未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積 GPA 値が 2.00 未満の場合のいずれかに該当した場合

(長期履修学生は、1年生前期から実習実施2期前までのいずれかの学期において、学期終了時の GPA 値が 2.00 未満の学期がある場合、及び1年生前期から実習実施直前の学期終了時までの累積 GPA 値が 2.00 未満の場合のいずれかに該当した場合)

②「養護学概論」が不認定となった場合

※加えて、「養護実習の研究」の履修も認めない。

③「養護学概論」、「教育学概論」、「教育課程論」、「教職論」、「学校保健」のうち、2科目以上が不可(再試験)となった場合

④「栄養学」、「解剖生理学Ⅰ」、「解剖生理学Ⅱ」、「小児保健」、「救急処置法」、「基礎看護学」、「看護学Ⅰ」、「看護学実習Ⅰ」のうち、2科目以上が不認定となった場合

⑤「養護実習の研究」の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合

(2) GPA が①の基準に該当する学生は、学外実習の「幼稚園教育実習」、「保育所実習」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」の履修が延期となります。

また、GPA の基準とは別に②、③、④、⑤に該当する学生は、学外実習の「幼稚園教育実習」の履修が延期となり、⑥、⑦、⑧に該当する学生は、学外実習の「保育所実習」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」の履修が延期となります。

①1年生前期終了時の GPA 値が 1.20 未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積 GPA 値が 1.30 未満の場合のいずれかに該当した場合

②「幼稚園教育実習指導」が不認定となった場合

③「器楽Ⅰ」、「器楽Ⅱ」の2科目とも不認定となった場合

④幼稚園教諭二種免許状の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合

⑤「幼稚園教育実習指導」の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合

⑥実習毎に設定した科目のいずれか1科目が不認定となった場合

保育所実習：「保育実習指導Ⅰ(保育所)」、「乳児保育Ⅰ」、「保育者論」

施設実習：「保育実習指導Ⅰ(施設)」、「社会福祉」、「社会的養護Ⅱ」

⑦保育士資格の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合

⑧各実習の指導科目〔「保育実習指導Ⅰ(保育所)」、「保育実習指導Ⅰ(施設)」、「保育実習指導Ⅱ」、「保育実習指導Ⅲ」〕の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合

※延期となった実習の扱い

延期となった実習はその後の履修状況等により、卒業までに履修できない場合があります。

7 GPA 等による科目等履修生の履修指導

本学では、科目等履修生の受入れを実施しています。

(1) 人間生活学科では、卒業直後の年度における科目等履修生として、次のとおりとします。

① GPA が以下のいずれかの基準に該当する科目等履修生は、学外実習の「養護実習」及び「臨床実習」を履修することができません。

・2年生前期終了時及び2年生後期終了時の GPA 値が 2.00 未満の場合

・卒業時の累積 GPA 値が 2.00 未満の場合

②以下の基準に該当する科目等履修生は、学外実習の「養護実習」及び「臨床実習」を履修することができません。

・「養護実習の研究」、「養護実習」、「臨床実習」、「教職実践演習(養護教諭)」を除く養護教諭二種免許状の必修科目が取得できていない場合

(2) 幼児教育保育学科では、累積 GPA 値が 1.30 未満の学生について、卒業直後の年度における科目等履修生として、「幼稚園教育実習」、「幼稚園教育実習指導」、「保育実習」、「保育実習指導」の受講を認めていません。

7. 他学科の授業科目履修について（解放科目）

自分が所属する学科以外の学科で開講されている授業科目の中に、興味がありぜひ受講してみたい科目があったとき、その科目を履修できる制度（専門教育科目の合計 30 単位までで、卒業要件のための単位として算入できます。）があります。有意義な履修を計画してください。

1 開放科目とは

自分の所属以外の学科で開講されている授業科目は、希望すれば全てを履修できるわけではありません。他学科の学生にも受講を認めている科目を「開放科目」と呼びます。開放科目は、本書の各学科の「教育課程・開講予定」の表に示しています。

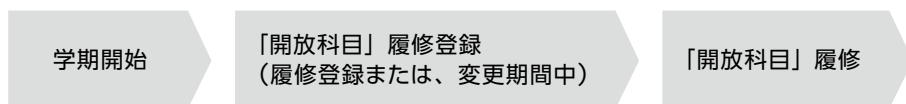
皆さんは、この「開放科目」の中から、時間割の上で受講が可能であるものに限って履修ができます。本書、『シラバス（授業計画）』をよく読んで興味のある科目を選択してください。

2 開放科目の履修登録

最も大切なのは、自分が所属する学科の授業科目です。所属する学科の開講科目の中から、卒業要件、希望する免許・資格に必要な科目を満たすように履修登録をしてください。

その上で、各学期の時間割を調べて、時間割の上で余裕のある時間に他の学科において開講されている「開放科目」を履修登録するようにしてください。開放科目の履修登録手続きは下のような日程となります。

ただし、授業科目が設定している履修条件に該当しない場合、その履修を認めないことがあります。



3 開放科目の試験について

所属する学科の試験日時と重なり、「開放科目」の試験が受験できない場合、「開放科目追試験」に必要事項を記入して、試験開始1週間前から開始日までに短大事務室へ提出してください。追試験・再試験の日程での受験となり、受験の機会は1回限りとなります。（別途の受験料は不要です。）

人 間 生 活 学 科

教育課程・開講予定

2025 年度 人間生活学科

学 科 目			方法	単位数	解放科目	登録科目記録欄	免許・資格必修										卒業に必要な単位*6	開講予定時期				備 考
区分	科 目 名						1 年		2 年													
							前期	後期	前期	後期												
教 養 教 育 科 目	2025101	茶道Ⅰ	演習	1											選択必修	○						
	2025102	茶道Ⅱ	演習	1													○					
	2025103	日本国憲法	講義	2			○									○						
	2025104	人間学入門	講義	2																	開講せず	
	2025105	キャリアデザインⅠ	演習	1						○					選択必修	○						
	2025106	キャリアデザインⅡ	演習	1						○					選択必修		○					
	2025107	キャリアデザインⅢ	演習	1																	開講せず	
	2025108	コンピュータ基礎演習Ⅰ	演習	1			○		○	○	○					○						
	2025109	コンピュータ基礎演習Ⅱ	演習	1			○		○	○	○						○					
	2025110	英語コミュニケーションⅠ	演習	1			○									○						
	2025111	英語コミュニケーションⅡ	演習	1			○											○				
	2025112	体育実技	実習	1			○												○			
	2025113	体育講義	講義	2			○									○						
	2025114	データサイエンス入門	講義	2					○										○			
	2025115	基礎ゼミⅠ	講義	2											選択必修	○						
	2025116	基礎ゼミⅡ	講義	2											選択必修		○					
		小 計													12 以上							
専 門 教 育 科 目	2025117	情報文化論	講義	2					○			▲							○			
	2025118	情報科学	講義	2					○	○		▲				○						
	2025119	コンピュータ応用演習Ⅰ	演習	1	○				○	○		▲							○			
	2025120	コンピュータ応用演習Ⅱ	演習	1	○				○	○		▲								○		
	2025121	高齢者の福祉	講義	2																	開講せず	
	2025122	栄養学（食品学を含む）	講義	2	○		○	○								○						
	2025123	クッキングⅠ（家庭料理）	実習	1	○			○								○						
	2025124	クッキングⅡ（行事食）	実習	1	○			○									○					
	2025125	食育実習	実習	1	○			○											○			
	2025126	調理学	講義	2	○			○									○					
	2025127	食育演習	演習	2				○												◎		
	2025128	食育総論	講義	2				○												○		
	2025129	精神保健	講義	2			○						△						○			
	2025130	ヘルスカウンセリング	講義	2			○						△						○			
	2025131	心理学基礎論	講義	2									△			○						
	2025132	臨床心理学	講義	2									△						○			
	2025133	発達心理学	講義	2			▲						△	△			○					
	2025134	特別支援教育論	講義	2			○						△	△			○					
	2025135	衛生学（公衆衛生学・予防医学を含む）	講義	2	○		○			○		▲								○		
	2025136	薬理概論	講義	2			○			○	○	▲							○			
	2025137	学校保健	講義	2			○										○					
	2025138	養護学概論	講義	2			○									○						
	2025139	小児保健	講義	2	○		▲									○						
	2025140	解剖生理学Ⅰ	講義	2	○		○			○	○	▲				○						
	2025141	解剖生理学Ⅱ	講義	2	○		▲			○	○	▲					○					

区分	学 科 目		方法	単位数	解放科目	登録科目記録欄	免許・資格必修										卒業に必要な単位＊5	開講予定時期				備考		
	科 目 名						養護教諭二種免許状＊1	食育インストラクター	情報処理士	シブカシ書士 (上級秘書士)	医療管理秘書士	医師事務作業補助技能認定試験＊2 (ドクターズブランク®)	ピアヘルパー＊3	准学校心理士＊4	1 年			2 年						
															前期	後期		前期	後期					
専門教育科目	2025142	微生物・免疫学	講義	2			○															○		
	2025143	基礎看護学	講義	2			○					▲						○						
	2025144	看護学Ⅰ	講義	2			○												○					
	2025145	看護学Ⅱ	講義	2			○														○			
	2025146	看護学実習Ⅰ	実習	1			○													○				
	2025147	看護学実習Ⅱ	実習	1			○														○			
	2025148	臨床実習	実習	2			○														*		病院実習 (2週間)	
	2025149	救急処置法	講義	2			○													○				
	2025150	養護教諭特別演習	演習	2			▲															○		
	2025151	医療秘書概論	講義	2							○	○	▲						○					
	2025152	秘書学概論	講義	2							○	○	▲						○					
	2025153	秘書実務演習	演習	2							○									○				
	2025154	医療制度論	講義	2									▲									○		
	2025155	医療秘書事務Ⅰ	演習	2							○	○	▲							○				
	2025156	医療秘書事務Ⅱ	演習	2																		○		
	2025157	医療情報学	講義	2																			○	
	2025158	総合的秘書実践実務Ⅰ	演習	2							○	○	▲								○			
	2025159	総合的秘書実践実務Ⅱ	演習	2									▲										○	
	2025160	介護事務演習	演習	2																				開講せず
	2025161	教職論	講義	2				○											○					
	2025162	教育学概論	講義	2				○											○					
	2025163	教育心理学	講義	2				○							△	△							○	
	2025164	教育課程論	講義	2				○												○				
	2025165	教育方法学	講義	2				○														○		
	2025166	道徳・総合的な学習の時間・特別活動論	講義	2				○															○	
	2025167	教育相談論（生徒指導を含む）	講義	2				○							△	△							○	
	2025168	養護実習の研究	実習	1				○												○				
	2025169	養護実習	実習	3				○													*			教育実習 (3週間)
	2025170	教職実践演習（養護教諭）	演習	2				○														○		
	2025171	生活学総論	講義	2															○					
	2025172	心理療法論	講義	2																			○	
	2025173	心理学外実習	実習	1																*	*			学外実習 (1週間)
	2025174	専門ゼミ	演習	2													2					○	○	
	小 計																42 以上							
合 計																62 以上								

*1 「養護教諭二種免許状」欄の▲を付した科目は、履修を義務づける。（単位修得は免許取得要件とはならない。）

*2 「医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズブランク®）」欄の▲を付した科目は、履修を義務づける。

*3 「ピアヘルパー必修」欄に△を付した科目から3科目以上、6単位以上を履修することが資格認定試験の受験資格となる。

*4 「准学校心理士」欄に△を付した科目から3科目以上、6単位以上を履修し、養護教諭二種免許状を取得しなければならない。

*5 「卒業に必要な単位」欄にある「選択必修」とは、履修をすることを義務づける科目である。（単位修得は卒業要件とはならない。）

（注1）食育インストラクター、医療管理秘書士、ピアヘルパーを取得するものは、それぞれ協会が行う資格認定試験に合格しなければならない。

コースと各種資格について

各自の目指す将来像にあった履修計画を立てましょう

人間生活学科では、多くの免許・資格を取得できるようになっています。自分の夢や将来にむけて、必要な免許・資格を選択しましょう。

人間生活学科は4つの特色ある専門分野から成り、それぞれを基礎から応用までしっかりと学びを深めることができるようにしています。この4つのコースは、同時に複数選択することができます。希望する免許・資格を中心に、コースや科目を組み合わせで選択し、自分に最もあった履修計画を立てましょう。

●学科の主な科目群

人間生活学科では、湊川短期大学生として備えてほしい教養のほか、生活者として健康に暮らすという視点を重視した科目を設定しています。

教養教育科目	湊川短期大学生として備えてほしい教養と専門教育科目を学ぶ基礎となる科目です。
専門教育科目	それぞれの専門分野を学ぶ科目です。 例えば、養護学概論 医療秘書概論 ヘルスカウンセリング 心理学基礎論 臨床心理学 栄養学（食品学を含む） 解剖生理学 看護学など

☆各コースの開講科目については、入学オリエンテーションのときに詳しく説明します。

●養護教諭コース

保健室の先生を目指すコースです。

養護教諭の職務の他、子どもの生活面をケアのできるよう、身体や心、カウンセリングの基礎を学びます。

目指す免許・資格 養護教諭二種免許状、准学校心理士

●医療秘書事務コンピュータコース

病院や診療所、介護施設の医療事務職や、一般事務職を目指すコースです。

医療機関での専門職につくために必要な、診療報酬請求事務や薬学や体の仕組みの基礎を学びます。一般的な事務技術も学びます。

目指す免許・資格 医療管理秘書士、医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク®）、医療事務技能審査試験（メディカルクラーク®）

●食育健康コース

食育インストラクターを目指すコースです。

様々な場面で食の大切さを伝える食育のスペシャリストを目指すコースです。食品関連企業や生活の中で役立つ食に関する知識と技術を学びます。

目指す免許・資格 食育インストラクター

●心理デザインコース

心理学を学び応用することができるようになるコースです。

自分自身の生活と心の健康を理解し、心理学を応用して人生を豊かにするための基礎を学びます。カウンセリング技術や心理療法についても学びます。

目指す免許・資格 メンタルヘルスマネジメント®検定（Ⅲ種）、心理学検定、ピアヘルパー、社会福祉事任用資格

★各資格において指定されている科目は、すべて履修・修得しなければいけません。

●その他の資格

コースにかかわらずなく、授業において取得することを推奨している資格です。別に定められた科目等の履修と資格試験に合格すること、もしくは、どちらかのみを満たすことにより取得することができます。

事務系 ――― マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、秘書検定、サービス接遇検定、情報処理士

食育系 ――― 食生活アドバイザー検定、家庭料理技能検定

医療事務系 ――― レセプト点検実務士（1級、2級、3級）、上級秘書士（メディカル秘書）

心理系 ――― ピアヘルパー、心理学検定、メンタルヘルスマネジメント®検定（Ⅲ種）

主な免許・資格の種類と概要

養護教諭二種免許状：

養護教諭（保健室の先生）になるための教員免許です。公立学校の正規教員になるためには、教員採用試験を受験し、合格する必要があります。教員採用試験の可否に関わらず、臨時講師の登録は可能です。

社会福祉主事任用資格：

次に挙げる科目の中から3科目を履修し、単位を修得した学生が取得できます。福祉行政の仕事をするに当たって任用される資格です。

【人間生活学科開講科目】 精神保健、基礎看護学、教育学概論・教育方法学（いずれか1科目で教育学1科目とする）

【幼児教育保育学科開講科目】 社会福祉、子ども家庭福祉、保育原理

准学校心理士：

学校心理士に準ずる資格です。学校心理士とは学校等をフィールドとした心理教育的援助の専門家です。准学校心理士を取得後、研修等を受講することによって、学校心理士を受験することができます。

医療管理秘書士、医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーフ®）、 医療事務技能審査試験（メディカルクラーフ®）：

一般社団法人医療教育協会、一般財団法人日本医療教育財団が認定している医療事務資格です。医療事務とは医療分野において診察記録の管理、医療費の計算、患者様への対応などの事務を行います。

食育インストラクター（4級・3級）：

食に関する専門知識を有し、日々の生活に活かし、広く推進・社会で活躍できる“食育”の指導者の証となる資格です。

食生活アドバイザー検定（3級・2級）：

食生活について広く確かな知識を問う試験です。

家庭料理技能検定：

栄養に係わる知識に関する内容と基本的な調理に関する技術力を問う試験です。

情報処理士：

情報処理の基本的な実務能力を有することを示す資格です。

マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）：

Word や Excel、PowerPoint のスキルを証明できる資格です。

秘書検定：

社会に出て働く際に備えておかなければならない、基本的な常識が出題される資格試験です。

サービス接遇検定：

サービス業務に対する心構え、対応の技術などが出題される資格試験です。

上級秘書士（メディカル秘書）：

一般財団法人全国大学実務教育協会が認定している資格です。秘書としての上級資格であるだけでなく、メディカル秘書として医療現場で活躍できる人材であることを示す資格です。

メンタルヘルス・マネジメント®検定：

大阪府商工会議所・施行商工会議所が主催する検定です。自らの不調にいち早く気づき、ケアできる人材であることを示す検定試験です。

心理学検定：

一般社団法人日本心理学諸学会連合が行っている検定です。心理学の基礎力、実力を示すことができる資格です。

ピアヘルパー：

心理面で手助けできる人です。コミュニケーションを通して一緒に心の問題を考えられる人に与えられる資格です。

人間生活学科 履修登録・成績発表・実習などのスケジュール

1 年	履修登録・成績発表など	実技など	資格試験・検定試験など
2025 年 4 月 4 日 4 ~ 9 日	前期開始 入学式 入学オリエンテーション 履修登録・内科検診		
5 月			
6 月			
7 月			サービス接遇検定準1級（実技） 赤十字救急法基礎講習
8 月 4 日 6 日~中旬	前期成績発表 追・再試験願提出 前期追再試験		MOS 試験 赤十字救急法基礎講習
9 月 18 日 22 日	前期追・再試験成績発表 後期開始 履修科目変更手続き		
10 月			
11 月			サービス接遇検定2級（学科）
12 月			ピアヘルパー試験
2026 年 1 月			
2 月		心理学外実習（1週間）	レセプト点検実務士3級試験秘 書検定試験 MOS 試験
3 月 4 日 17 日~	後期成績発表 追・再試験願提出 後期追・再試験		

2 年	履修登録・成績発表など	実技など	資格試験・検定試験など
2026 年 4 月 上旬	前期開始 2年生オリエンテーション 1年後期最終成績発表 再履修・履修科目変更手続き		
5 月		養護実習（3週間）	
6 月			
7 月			養護教諭教員採用試験 医療管理秘書士試験
8 月 上旬	前期成績発表 追・再試験願提出 前期追・再試験		MOS 試験 レセプト点検実務士1級・2級試験
9 月 中旬 下旬	前期追・再試験成績発表 後期開始 履修科目変更手続き (卒業単位に関わるもののみ)	臨床実習(病院実習)(2週間)	
10 月			
11 月			医療事務技能審査試験 (メディカルクラーク®) 医師事務作業補助技能認定試験 (ドクターズクラーク®) 食生活アドバイザー検定試験
12 月			メンタルヘルス・マネジメント®検定試験
2027 年 1 月	卒業研究提出		食育インストラクター試験
2 月 中旬 中・下旬	後期成績発表、卒業研究発表会 追・再試験願提出 後期追・再試験 後期追・再試験成績発表		
3 月	学位記授与式		

試験日程はここにあげるもの以外の日も行われるものもある。
手続きの日程にも注意すること。

人間生活学科での履修において特に注意する点

履修、単位修得については、自己管理が原則です。時期を間違えると、手続きができなくなったり、履修ができなくなるなどで、単位を修得できないこともあります。本書を読んでもわからないことは、チューターに相談し、短大事務室に確かめながら、間違いなく卒業、免許・資格に必要な単位を修得できるようにしましょう。

1 履修科目および免許・資格登録

○「教育課程・開講予定」「コースと各種資格について」でよくチェック！

- ・卒業に必要な単位数を2年間で修得できるよう、履修計画ができていますか。
- ・希望する免許・資格に必要な履修計画ができていますか。
- ・単位に少し余裕を持たせ、バランスよく履修できるよう、計画していますか。

2 履修科目の変更

○履修科目の確認は学期ごとに行われます。「履修登録・成績発表・実習・研修などのスケジュール」を参考にしてください。変更の時には、間違っても必要な科目の取り消しをしないように注意してください。また、履修登録していない科目は、授業に出席しても単位は認定されませんので注意してください。

○履修科目の「追加・取り止め」は、各学期の定められた期日において可能です。

3 希望する免許・資格の変更

○1年生の4月末までに、免許・資格の取得希望を決定します。その後は、原則として希望をつけ加えることはできません。希望を取り下げの場合は、チューターとコース担当教員に相談した上で、短大事務室へ届け出てください。

4 養護教諭二種免許状取得についての注意事項

○必要な科目の単位を全て修得する必要があります。

○「養護実習」「臨床実習」：学外での養護教諭教育実習および病院における見学実習です。ガイダンスを受け、間違いのないよう特に注意してください。学外実習を実施するための条件（p.13 参照）を満たさない場合は、在学中での「養護実習」および「臨床実習」の履修ができなくなり、養護教諭二種免許状も取得できません。

○准学校心理士は、養護教諭二種免許状取得者のうち、必要な科目の単位を全て修得、申請する必要があります。

5 食育インストラクター取得についての注意事項

○必要な科目の単位を全て修得する必要があります。なおかつ、2年生後期に行われる「食育インストラクター資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。

6 情報処理士取得についての注意事項

○必要な科目の単位を全て修得する必要があります。

7 上級秘書士（メディカル秘書）取得についての注意事項

○必要な科目の単位を全て修得する必要があります。

8 ピアヘルパー取得についての注意事項

- 対象となる科目の中から、3科目以上、6単位以上の単位を修得する必要があります。なおかつ、12月に行われる「ピアヘルパー資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。適宜、試験対策講習を行いますので、必ず出席してください。
- 1年生の年度末で必要な科目の単位の修得の見込みがあれば、1年生でも「資格認定試験」を受けることができます。

9 医療管理秘書士、医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク®）、医療事務技能審査試験（メディカルクラーク®）取得についての注意事項

- 必要な科目の単位をすべて修得し、なおかつ、各資格試験に合格することで取得できます。
- 必要な科目の単位がすべて修得見込みとなった2年生において、資格試験を受験してください。適宜、定められた授業において試験の手続きや対策講習を行いますので、必ず出席してください。

診療実務士について

- ・医療管理秘書士の試験で、総合得点90%以上の場合は診療実務士1級を、80%以上の場合は同2級を、70%以上の場合は同3級を別に申請することができます。

医療事務技能審査試験（メディカルクラーク®）について

- ・資格試験を受験する場合は、次に示す科目の履修を推奨します。
衛生学（公衆衛生学・予防医学を含む）、薬理概論、解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学、医療秘書概論、秘書学概論、医療制度論、医療秘書事務Ⅰ・Ⅱ、医療情報学、総合的秘書実践実務Ⅰ・Ⅱ

10 心理学外実習についての注意事項

- 心理学外実習は心理デザインコースの学生が履修できます。
- 履修登録の時点で、心理学基礎論、発達心理学、および小児保健の単位認定が必要となります。また、事前説明会および事前勉強会に出席する必要があります。

幼 兒 教 育 保 育 学 科

教育課程・開講予定

2025 年度 幼児教育保育学科

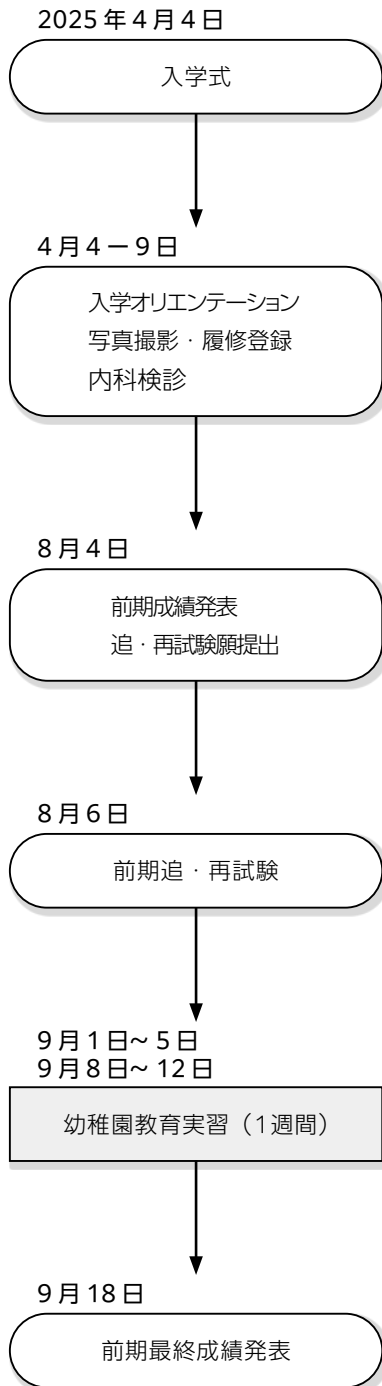
学 科 目			方法	単位 数	解 放 科 目	登 録 科 目 記 録 欄	免許・資格必修					卒業に 必要な 単位*6	開講予定時期				備 考
区分	科 目 名						1 年		2 年								
							前期	後期	前期	後期							
教 養 教 育 科 目	2025301	茶道Ⅰ	演習	1							選択必修	○					
	2025302	茶道Ⅱ	演習	1									○				
	2025303	日本国憲法	講義	2			○					○					
	2025304	人間学入門	講義	2													開講せず
	2025305	キャリアデザインⅠ	演習	1							選択必修	○					
	2025306	キャリアデザインⅡ	演習	1							選択必修		○				
	2025307	キャリアデザインⅢ	演習	1													開講せず
	2025308	コンピュータ基礎演習Ⅰ	演習	1			○					○					
	2025309	コンピュータ基礎演習Ⅱ	演習	1			○						○				
	2025310	英語コミュニケーションⅠ	演習	1			○					○					
	2025311	英語コミュニケーションⅡ	演習	1			○						○				
	2025312	体育実技	実習	1			○	○								○	
	2025313	体育講義	講義	2			○	○				○					
	2025314	データサイエンス入門	講義	2											○		
	2025315	基礎ゼミⅠ	講義	2							選択必修	○					
	2025316	基礎ゼミⅡ	講義	2							選択必修		○				
	小 計									12 以上							
専 門 教 育 科 目	2025317	音楽基礎	演習	1				△				○					
	2025318	子どもと音楽表現	演習	1	○		○	○					○				
	2025319	器楽Ⅰ	演習	1			▲	▲				○					
	2025320	器楽Ⅱ	演習	1			▲	▲					○				
	2025321	器楽Ⅲ	演習	1			▲	△						○			
	2025322	器楽Ⅳ	演習	1			▲	△							○		
	2025323	子どもと造形表現	演習	1	○		○	○					○				
	2025324	図画工作	演習	1				△						○			
	2025325	子どもと健康	演習	1			○	○					○				
	2025326	子どもの保健	講義	2				○				○					
	2025327	子どもの健康と安全	演習	1				○					○				
	2025328	子どもの食と栄養	演習	2				○						○			
	2025329	子どもと環境	演習	2	○		○	△				○					
	2025330	子どもと言葉	演習	1	○		○	○					○				
	2025331	社会福祉	講義	2	○			○				○					
	2025332	子育て支援	演習	1	○			○								○	
	2025333	子ども家庭福祉	講義	2	○			○					○				
	2025334	子ども家庭支援論	講義	2	○			○						○			
	2025335	保育者論	講義	2			○	○				○					
	2025336	教育原理	講義	2			○	○				○					
	2025337	教育方法基礎論	講義	2			○	△								○	
	2025338	保育原理	講義	2	○			○				○					
	2025339	社会的養護Ⅰ	講義	2	○			○				○					
	2025340	保育の心理学	講義	2			○	○		△	△		○				
	2025341	子ども家庭支援の心理学	講義	2	○			○		△						○	
	2025342	子ども理解	演習	1	○		○	○		△				○			
	2025343	教育相談基礎論	講義	2	○		○	△		△	△				○		
	2025344	幼児教育・保育課程論	講義	2			○	○							○		

学 科 目			方法	単位数	解放科目	登録科目記録欄	免許・資格必修					卒業に必要な単位＊6	開講予定時期				備考
区分	科 目 名						幼稚園教諭一種免許状＊1	保育士＊2	幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級＊3	ピアノヘルパー＊4	准学校心理士＊5		1 年		2 年		
													前期	後期	前期	後期	
専門 教科 目	2025345	保育内容総論	演習	1			○	○					○				
	2025346	社会的養護Ⅱ	演習	1	○			○					○				
	2025347	保育内容健康	演習	1			○	○						○			
	2025348	保育内容人間関係	演習	1			○	○		△					○		
	2025349	保育内容環境	演習	1			○	○				○					
	2025350	保育内容言葉	演習	1			○	○					○				
	2025351	保育内容表現（リズム）	演習	1			○	○				○					
	2025352	保育内容表現（絵画）	演習	1	○		○	○					○				
	2025353	保育内容表現演習	演習	1	○			△							○		
	2025354	特別支援保育	演習	2			○	○		△			○				
	2025355	乳児保育Ⅰ	講義	2				○					○				
	2025356	乳児保育Ⅱ	演習	1				○							○		
	2025357	遊びの援助	演習	1				△							○		
	2025358	子どもの音楽と遊び	演習	1				△							○		
	2025359	特別支援技術	講義	2				△							○		
	2025360	医療的ケア児支援	講義	2				△							○		
	2025361	インクルーシブ演習	演習	1				△							○		
	2025362	リトミック	演習	1				△	○					○			
	2025363	幼稚園教育実習指導	実習	1			○						○	○			
	2025364	幼稚園教育実習	実習	4			○						＊	＊			
	2025365	保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	1				○					○	○			
	2025366	保育実習指導Ⅰ（施設）	演習	1				○					○	○			
	2025367	保育所実習	実習	2				○						＊			
	2025368	施設実習	実習	2				○					＊				
	2025369	保育実習指導Ⅱ	演習	1	}		○								○	○	
	2025370	保育実習Ⅱ	実習	2											＊		
	2025371	保育実習指導Ⅲ	演習	1	}										○	○	
	2025372	保育実習Ⅲ	実習	2												＊	
	2025373	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2			○	○							○		
	2025374	生活福祉基礎演習	演習	1				△								開講せず	
	2025375	生活福祉実践演習	演習	1				△								開講せず	
	2025376	保育入門	講義	2									○	○			
	2025377	ピアノ入門	演習	1									○	○			
	2025379	保育実践	演習	1									○	○			
	2025378	専門ゼミ	演習	2								2			○	○	
	小 計											42 以上					
	合 計											62 以上					

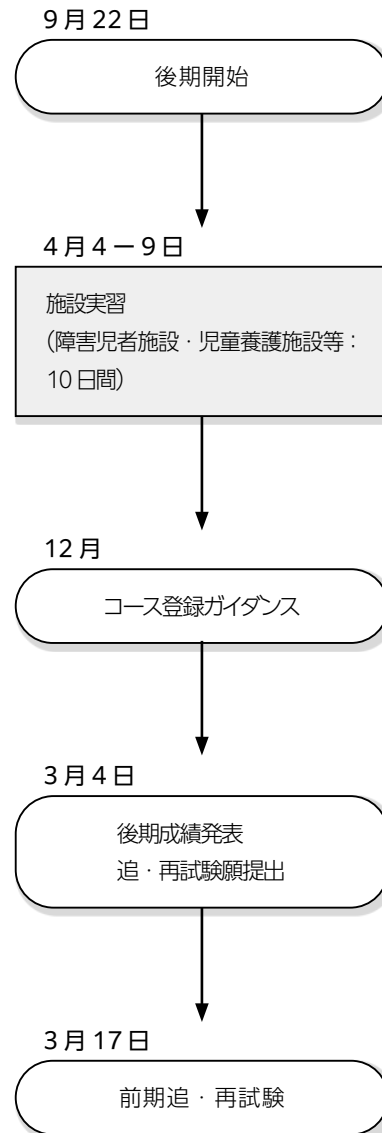
- *1「幼稚園教諭二種免許状必修」欄の▲を付した科目は、履修することが義務づけられる。（単位修得は免許取得要件とはならない。）
- *2「保育士必修」欄の▲を付した科目は、履修することが義務づけられる。（単位修得は資格取得要件とはならない。）
また、▲および△を付した科目から6単位以上履修しなければならない。
- *3「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級必修」欄の科目を履修し、資格認定試験に合格しなければならない。
- *4「ピアノヘルパー必修」欄に△を付した科目から3科目以上、6単位以上を履修することが資格認定試験の受験資格となる。
- *5「准学校心理士」欄に△を付した科目から3科目以上、6単位以上を履修し、幼稚園教諭二種免許状又は保育士資格を取得しなければならない。
- *6「卒業に必要な単位」欄にある「選択必修」とは、履修をすることを義務づける科目である。（単位修得は卒業要件とはならない。）
（注）ピアノヘルパーを取得するものは、協会が行う資格認定試験に合格しなければならない。

幼児保育学科 履修登録・成績発表・実習などのスケジュール

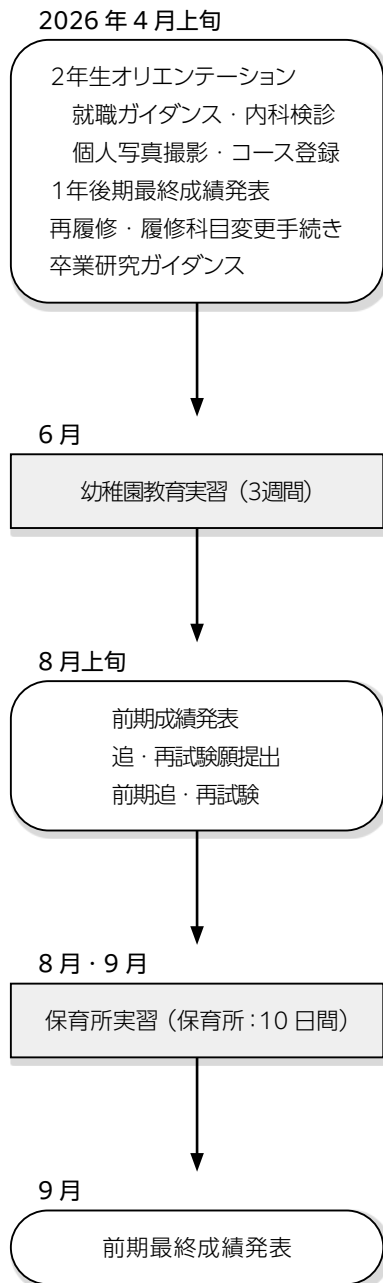
1年前期 (2025 年4月～9月 21 日)



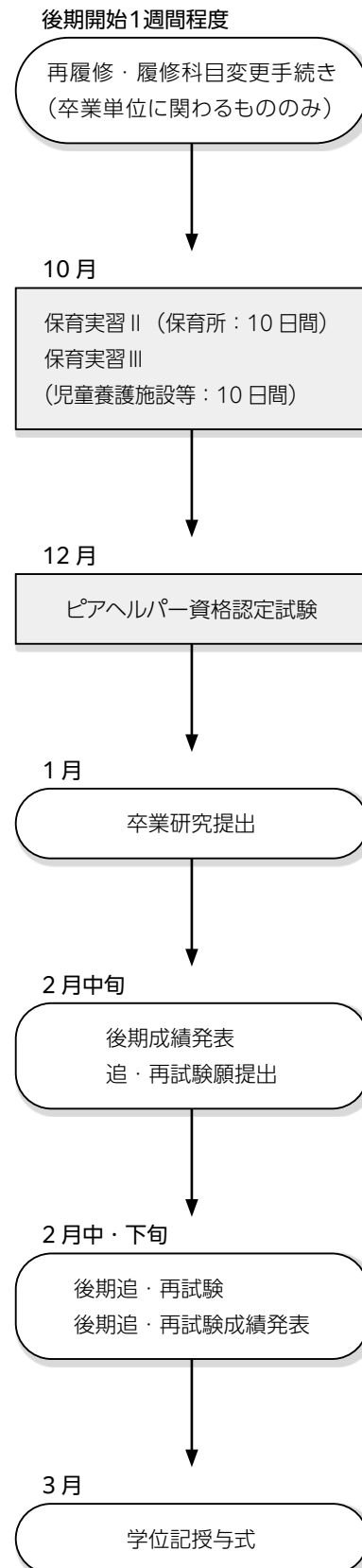
1年後期 (2025 年9月 22 日～ 2026 年3月)



2 年前期 (2026 年4月-9月)



1 年後期 (2026 年 10 月 - 2027 年3月)



幼児教育保育学科での履修において特に注意する点

履修、単位修得については、自己管理が原則です。時期を間違えると、手続きができなくなったり、履修ができなくなるなどで、単位を修得できないこともあります。本書を読んでもわからないことは、チューターに相談し、短大事務室に確かめながら、間違いなく卒業、免許・資格に必要な単位を修得できるようにしましょう。

1 履修科目および免許・資格登録

- 「教育課程・開講予定」でよくチェック！
 - ・卒業に必要な単位を登録していますか。
 - ・希望する免許・資格に必要な単位を登録していますか。
 - ・少し、単位に余裕を持たせて開講時期にバランスよく登録していますか。

2 履修科目の変更

- 履修科目の変更は、学期ごとの履修科目変更期間に変更できます。変更の時には、間違っても必要な科目の取り消しをしないように注意してください。また、履修登録していない科目は、授業に出席しても単位は認定されませんので注意してください。
- 履修科目の「追加・取り止め」は、各学期の定められた期日において可能です。

3 希望する免許・資格の変更

- 原則として希望をつけ加えることはできません。希望を取り下げる場合は、チューターに相談した上で、短大事務室へ届け出てください。

4 幼稚園教諭二種免許状取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。
- 「幼稚園教育実習」：学外での幼稚園教育実習です。以下に該当する場合は、「幼稚園教育実習」の履修が延期となります。
 - ・「器楽Ⅰ」、「器楽Ⅱ」の2科目とも不認定となった場合
 - ・幼稚園教諭二種免許状の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合
 - ・「幼稚園教育実習指導」の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合
 - ・1年生前期終了時の GPA 値が 1.20 未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積 GPA 値が 1.30 未満の場合のいずれかに該当した場合

※延期となった実習の扱い

延期となった実習はその後の履修状況等により、卒業までに実施できない場合があります。

5 保育士資格取得についての注意事項

○必要な科目の単位を全て修得する必要があります。

○以下に該当する場合は、「保育所実習」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」の履修が延期となります。

- ・実習毎に設定した科目のいずれか1科目が不認定となった場合
保育所実習：「保育実習指導Ⅰ（保育所）」、「乳児保育Ⅰ」、「保育者論」
施設実習：「保育実習指導Ⅰ（施設）」、「社会福祉」、「社会的養護Ⅱ」
- ・保育士資格の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合
- ・各実習の指導科目〔「保育実習指導Ⅰ（保育所）」、「保育実習指導Ⅰ（施設）」、「保育実習指導Ⅱ」、「保育実習指導Ⅲ」〕の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合
- ・1年生前期終了時のGPA値が1.20未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積GPA値が1.30未満の場合のいずれかに該当した場合

※延期となった実習の扱い

延期となった実習はその後の履修状況等により、卒業までに実施できない場合があります。

6 幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級取得についての注意事項

○「リトミック」の単位を修得する必要があります。

○「資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。

○「リトミック」の履修には、「器楽」を併修していることが前提となります。

7 ピアヘルパー取得についての注意事項

○対象となる科目の中から、3科目以上、6単位以上の単位を修得する必要があります。

○12月に行われる「ピアヘルパー資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。
適宜、試験対策講習を行いますので、必ず出席してください。

○1年生の年度末で必要な科目の単位の修得の見込みがあれば、1年生でも「資格認定試験」を受けることができます。

8 准学校心理士について

○学校心理士に準ずる資格です。学校心理士とは学校等をフィールドとした心理教育的援助の専門家です。

○取得のためには、幼稚園教諭二種免許状又は保育士を取得した上で、必要な科目を修得し申請する必要があります。

○准学校心理士を取得後、研修等を受講することによって学校心理士を受験することができます。

9 シェルボーン・ムーブメント（1級）および「医療的ケア児等支援者」養成研修（兵庫県主催）

○インクルーシブコースを選択した学生が優先的に受講することができます。（人数制限あり）

○インクルーシブコースのコース必修科目を履修することが前提です。

コース選択について

幼児教育保育学科では、2年次より2つのコースに分かれます。

学んだ技術や知識を実践できるよう、希望する進路に合わせてコース選択を行って下さい。

保育研究コース

○遊びのスペシャリストを目指すコースです

子どもたちの豊かな感性や表現を育むために様々な遊びを自ら経験し、指導方法を学ぶことで思考力や判断力を身につけ、社会の中で子どもの生活や文化を支える保育者を目指します。

コース必修科目	子どもの音楽と遊び 遊びの援助
関 連 科 目	子どもと音楽表現 保育内容総論

インクルーシブコース

○発達支援のスペシャリストを目指すコースです

保育現場では、特別な配慮を必要とする子どもたちへの理解が求められています。

子どもの可能性を信じ「インクルーシブ」の考え方を保育や教育の現場から、広く社会の中で実践する指導者を目指します。

コース必修科目	特別支援技術 医療的ケア児支援 インクルーシブ演習
関 連 科 目	子ども家庭福祉 保育の心理学

詳細は入学オリエンテーション及び1年次後期のコース登録ガイダンスで、詳しく説明します。

2025 年度
履修ガイド

〒669-1342 湊川短期大学
三田市四ツ辻1430
TEL 079-568-1858